

シグマ研究委員会FP 炉定数W. G.

1977年度第1回会合議事録

日 時 1977年5月26日 9:30~12:00  
場 所 原研東海研 研究2棟304号 原子核データ室資料室  
出 席 者 菊池, 西村, 田坂, 長谷川(原研), 飯島(NAIG), 松延(住友),  
大竹(PNC)

配布資料

- (1) Y. Kikuchi and A. Hasegawa: Test of FP Data in JENDL-1  
by Using the Integral Data - Supplement of JAERI-1248  
-, Contribution to IAEA 1977 FPND Meeting

議 題

- 1) STEK の積分実験解析報告 菊池, 長谷川
- (A) STEK の積分実験におけるJanesenからの新情報
- STEKの $\phi$ と $\phi^*$ が改訂された。
  - mixture sample の moisture correction がなされた。
  - isotope sample の zero thickness は誤差が多く, ECN においては self-shielding を計算するとの事
- (B) IAEA 1977 FPND Meeting への contribution
- 改訂後の $\phi$ ,  $\phi^*$ を用いてやり直した結果, 特にSTEK-500, 1000の結果が良くなった。
  - KFK-sample は moisture correction により異常な炉心異常性が解決した。
  - isotope sample はとりあえず zero thickness で比較した。
  - contribution は Bustraan と Gruppelaar へ送付済み
- (配布資料(1))

(C) Normalization problem

- ECNの新しい $\phi$ ,  $\phi^+$ とJAERI-Fast setを用いて, normalization integralをcheckし1~3%程度の差である事を確認した。
- JAERI-Fast set V-II Rによる $^{10}\text{B}$ ,  $^{235}\text{U}$ のworthの再計算し,同程度のC/Eとなったとの報告があった。

2) FP核データW. G. からの新規核種

- 6月中に新核種33核種が出る。
- 評価中重大な問題点がいくつか発見されたので, 今回の評価はこれで打ち切り, 問題点の解明に全力をそそぎ, その後28核種を含めて見直す事になった。
- これに対して, 当W. G. よりさらに2,3の重要核種の評価をリクエストする事にした。

3) 今年度の作業計画

(A) 新規33核種の炉定数化

(B) Concentration の改訂

- FPS codeのconcentrationに誤りがある事が判明したので, DC-HAIN codeを使ってやり直す事になった。

(C) STEK 解析

- isotope sampleの解析にはself-shielding correctionが必要である。
- その為のf-table作成や, 実験データの詳細な解析は当W. G. ではman-power上困難との認識を持つ。
- PNCが外部へ委託も可能であるが, JENDL-1の積分テストとの関係調整が必要。
- 結論は, 秋のFPND Meeting終了まで待つ事になった。